

市川市立大洲小学校



学校だより  
4月号

発行責任者 校長 田中 敏則

きずな



よくまなび よくあそび  
～ 人生を拓く力の育成 ～

まなび いっぱい  
やさしさ いっぱい  
げんき いっぱい

## 凡事徹底

あたたかな日差しや草花の香りが、生命力あふれる春の到来を告げる中、大洲小学校の令和5年度がスタートしました。

「春」は英語で「spring（スプリング）」です。これは、「跳躍」「バネ」「源泉」「青春」「湧き出る」「はじける」などの意味もあります。勢いよく、明るく楽しく、勇気と希望を胸中の泉から湧き出して、思い切りはじけるように出発する——それが「春」です。

春の気配を感じると、不思議なほど頑張ろうという気持ちになってきます。新しい学年が始まりますが、子どもたちは、やる気全開だと思えます。心機一転、新しい目標を決めて、一年の希望を叶える因をつくりたいものです。

「算数のテストは毎回100点をとるぞ」「本を毎月3冊読むぞ」「逆上がりをマスターするぞ」と、子どもたちにはそれぞれ立てた目標があると思えます。応援は惜しみません。掲げた目標に向かって、是非、励んでほしいと思えます。

一方で、誰にでもできる平凡なことを、徹底して続けることも大切です。「大きな声であいさつをする」「しっかりとした返事をする」「時間を守る。遅刻をしない」「掃除を頑張る。身の回りの整理整頓をする」等です。



カー用品専門店のイエローハットを、全国規模に発展させた創業者・鍵山秀三郎氏が、徹して続けてきたこと。それは「掃除」です。ともすると人は、平凡なことは軽くあしらいがちになります。また、難しく特別なことをしなければ、成果が上がらないと思ひ込んだりもします。でも、鍵山氏は言います。「平凡の積み重ねが非凡を招くようになっています」と。（鍵山秀三郎著『ひとつ拾えば、ひとつだけきれいになる』）

氏は、「微差、僅差の積み重ねが、大差となる」「根を養えば、木は自ら育つ」とも言っています。平凡で当たり前のことの積み重ねは、必ず自分を変え、成長させていくはずで

さて、新入生84名を迎え、全校児童538名、各学年3クラスの18学級で元気よくスタートしました。新1年生の保護者の皆様には、心から小学校入学のお慶びを申し上げます。子どもたちは、不安と緊張の中にも喜びで胸が膨らんでいることでしょう。早く学校に慣れ、

毎日の学校生活が、喜びと楽しさのあふれたものになってほしいと願っております。また、1学年ずつ進級した子どもたちの保護者の皆様、おめでとうございます。子どもたちは、新しい学年、クラスへの大きな期待と様々な希望を胸に抱いていることと思えます。そのドキドキ感とワクワク感は、子どもたちだけでなく、教職員も同じです。

「大洲小学校でよかった」と言っていただけのように、教職員一同、力を尽くしてまいります。よろしく願いいたします。



# 今年度の教職員を紹介いたします

1-1		1-2		1-3	
2-1		2-2		2-3	
3-1		3-2		3-3	
4-1		4-2		4-3	
5-1		5-2		5-3	
6-1		6-2		6-3	
校長		教頭		教務主任	
音楽専科		理科専科		日本語指導	
養護教諭		栄養教諭		算数少人数	
初任者指導		県事務		市事務	
用務員		学校司書		ゆとろぎ相談員	
外国語指導員		外国語指導員		外国語指導員	
SSS		SSS		たまプロ	

## 連絡事項

### 「新たな学校生活スタイルガイドライン」の改訂について

3月17日付文部科学省「新学期以降の学校におけるマスクの着用の考え方の見直し等について」の通知が発出されたことを受け、本市の「新たな学校生活スタイルガイドライン」の見直しが行われました。

今回の改訂で、**児童生徒及び教職員に対して、マスクの着用を求めない**ことが基本となりました。

また、児童生徒が登校を控える基準については、○児童生徒が感染した場合 ○児童生徒が、感染者の濃厚接触者に特定された場合 ○児童生徒に、発熱や咽頭痛、咳等の普段と異なる症状がある場合です。 ※いずれの場合も「出席停止扱い（欠席とはしない）」

ただし、児童生徒の**同居家族が発熱等の風邪症状がある場合でも、児童・生徒が無症状であれば、登校は可能**となりました。

詳細は、学校ホームページのメニュー「お知らせ」に載せてあります。

<https://ichikawa-school.ed.jp/ohsu-sho/osirase>



### 市川市非常変災時（台風、地震等）における学校等の対応について

市川市では非常変災時において、気象に関しては、午前6時の時点で、特別警報（暴風警報・暴風雪警報・大雪警報）または警戒レベル4以上が発令されている場合は、学校から連絡があるまで「自宅待機」となります。

また、地震への対応では、登校前に千葉県北西部で「震度5弱」を観測した時点で、児童生徒は「自宅待機」とし、緊急連絡メールで対応を連絡します。

※緊急連絡メールで対応しますが、学校からの連絡がない場合でも、安全確保を最優先し、各ご家庭の判断で登校を遅らせたり、休ませたりするなどの対応を認めております。

詳細は、学校ホームページのメニュー「安全・安心」に載せてあります。

<https://ichikawa-school.ed.jp/ohsu-sho/hijousaigai>

